
ガラスの関係

五十嵐 ライカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ガラスの関係

【Nコード】

N0142V

【作者名】

五十嵐 ライカ

【あらすじ】

この二人の関係は…どうなることか

(前書き)

思ひしき

ああ、君にこの想いを伝えたら…壊れて、しまうのだろうか？
僕らの関係は、壊れてしまうの？

ねえ、誰か、教えて？

僕の想いは、伝えてはいけないの？

君は…君は…離れていってしまうのですか？
それが怖くて…僕は前に進めない。

君にとって僕は、どんな存在ですか？

ただの後輩？

面倒をみなくてはいけない、厄介な存在？
それとも…記憶にはもう、ないのですか？

君とは、もうすぐ会えなくなってしまう…。

僕が君にとっての大事な存在だと、信じたい。

いや、自惚れたい。

しかし…そんなことができるほど、君と僕の距離は近くない。
…遠いです。

君は何を思って、僕に優しくしてくれたのかな？
そんなことを考えても、君は誰にでも優しいだけ。
たまたま僕は、君の傍にいたから優しくしてもらっただけ。
思い上がってはいけないんだ。

僕は君に何をしてあげられましたか？
君の中に僕は少しでも残っていますか？
僕を想ってくれなんてわがまま、決して言わない。
違う、言えない。
ほんの少しだけ、君の中に残りたい。

どんな形でもいい。
傍にいたい。
たまにでもいいから、連絡を取りたい。
僕のこと、忘れないでほしい。

でも、本当は…君に僕の想いを伝えたい。
だけど、僕らの関係は硝子のよう。
いつ壊れるかわからない…。
ひびが入ったら、すぐに割れてしまう。
儚きものさ。

ガラスの関係
(誰か、壊す勇気を下さい)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0142v/>

ガラスの関係

2011年10月9日12時02分発行